

会場へのアクセス

函館市青年センター

〒040-0013 北海道函館市千代台町27番5号

公共交通機関をお使いの方

市電「千代台電停」下車、徒歩1分
バス「千代台」下車、徒歩2分
バス「テオーデパート前」下車、徒歩10分

自家用車をご利用の場合

千代台公園駐車場をご利用ください。
青年センターでの駐車券の認証で2時間
まで無料で使用できます。(以後30分ごと
100円)
※スペースに限りがありますので、できる
限り公共交通機関をご利用ください。路上
および近隣店舗等の駐車場への駐車は迷
惑になりますので、おやめください。



アカデミックリンクの開催にあたり各企業の皆様から
ご協賛を賜りました。ありがとうございました。

株式会社アイコー建設・株式会社いちたかガスワン・
株式会社エスイーシー・株式会社函館新聞社・
株式会社北海道新聞 函館支社・株式会社森川組・
株式会社山下設計北海道支社・佐藤公郎建築設計事務所
大明工業株式会社・函館山ロープウェイ株式会社 (敬称略・順不同)

出展ブース、ステージの審査にあたっては、
次の企業・団体などの皆様にご協力賜ります。
ありがとうございます。

産学官連携「クリエイティブネットワーク」・市立函館高等学校・
北海道渡島総合振興局・株式会社北洋銀行・
特定非営利活動法人函館市青年サークル協議会・
北海道退職校長会函館支部・北海道中小企業家同友会函館支部・
北海道教育庁渡島教育局・函館市経済部

主催
キャンパス・コンソーシアム函館

加盟団体
公立はこだて未来大学／函館大谷短期大学／
函館工業高等専門学校／函館大学／
函館短期大学／北海道教育大学函館校／
北海道大学大学院水産科学研究院・水産学部／
ロシア極東連邦総合大学函館校／
函館商工会議所／函館市

後援
北海道教育庁渡島教育局

お問い合わせ キャンパス・コンソーシアム函館 事務局

〒041-8655 北海道函館市亀田中野町116番地2
公立はこだて未来大学内
TEL. 0138-34-6121 FAX. 0138-34-6101
MAIL. info@cc-hakodate.jp

CCH キャンパス・コンソーシアム函館
公式サイトはQRコードからアクセス
<https://www.cc-hakodate.jp/>



HAKODATE アカデミック リンク 2024

進路を考えるきっかけに

先輩たちの研究を学ぶチャンス

今、函館で学べることが見えてくる

CCH キャンパス・コンソーシアム函館 はこだて高等教育機関 合同研究発表会

ブース セッション 体育館

ステージ セッション 会議室

2024 11.10 日 12:00-15:00 @函館市青年センター
函館市千代台町27番5号



HAKODATE アカデミックリンクとは？

函館市内8高等教育機関の学生が一堂に会し、普段研究している内容や成果などをポスター展示や実演などによって発表し合う合同研究発表会です。会場では、学生とのコミュニケーションも楽しめます。最先端の研究や地域課題へのアプローチなど、函館の学生たちの取り組みをぜひ見に来てください。

街が僕らのアカデミア

函館市内にある8つの高等教育機関(大学・短大・高専)では、学生・教員らが持つ「体験」「発想」「探求心」から生まれる様々な研究がそれぞれのキャンパスで進行中です。これらの一端ではありますが、市民の皆さんにわかりやすくご紹介し、各研究テーマの協力・連携の可能性を探るべく各校が一堂に会します。当日は、ブースやステージでの発表をとおして、ここ函館を舞台に日々繰り広げられている研究活動がより身近に感じられるはずです。中学生・高校生の皆さんには今後の進路決定の参考に、企業の皆さんには学生の発表から新たなアイデアを探し出す機会になりますので、ぜひともご来場ください。心よりお待ちしております。



ステージセッション参加チーム

ステージでの発表 12:30~14:20

11分間の持ち時間で繰り広げられるステージでのプレゼンテーションです。

1 北大水 チーム Healsea weed

低利用資源「海のバセリ」のここがすごい！ ～糖尿病予防に寄与する可能性を明らかに～

紅藻ダルス(Devaleraea inkyuleei)は、タンパク質や食物繊維が豊富で、栄養満点な海藻です。資源が豊富であることから、食品や機能性成分としての利用を目指し、その成分に関する研究を行っています。

チーム代表 太田龍成
チーム員 馬場惇平・石川勇斗

2 函短大 チーム 函短地域課題研究山下グループ

「遊びを通して子どもに伝える縄文SDGsの保育教材の開発-カックウ絵描き歌-」

函館は世界遺産がある学園都市である。子供が函館の宝物を知り、幼少期の頃から郷土愛を育むには？函館の「ろうそくもらい」の伝承風景にヒントを得て、優しい眼差しのカックウを描く「絵描き歌」や、楽しく身体を動かす「縄文体操」の教材開発に取り組む。

チーム代表 菊地暹紀
チーム員 笹森孔銘・速水美咲・森井寿南・鷺田愛優葉

3 極東大 チーム 遣露使(ケンロシ)

～実際に見たがゆえに語れること～ in Russia

現在ロシアとの交流は限られており、報道等を通して間接的にしか知ることができない。そこでロシアでの留学実習中にロシア人学生が日本に対してどのような印象を抱いているか等のアンケート調査を実施し、分析する。この結果から得たロシアの今を発表する。

チーム代表 渡邊晟矢
チーム員 岩岡正悟・一ノ渡夏菜

4 北教大 チーム 石森ゼミ3期

多言語・複言語による異文化コミュニケーション

異文化コミュニケーション力の育成が重要視され、多言語・複言語活動が目まぐるしく行われています。地方の学校では英語以外の言語に触れる機会が少ないため、ゼミ活動で留学生と協働した多言語・複言語活動を実施しました。成果や児童生徒の学びについて考察します。

チーム代表 松山聖奈
チーム員 菅奏

5 函館大 チーム 台湾プロジェクト

大学による外国人材育成と地域定着にむけたインターンプログラムの検証

私たちは、函館・台北間に定期就航便のある台湾の教育機関と道南の企業にむけて調査を実施しました。この結果から、道南地域の多様な人材確保や地域のグローバル化にむけ、高等教育機関を活用した外国人材の育成とインターンプログラムを提案します。

チーム代表 日向葵
チーム員 高山もか・大坂夏月・小川凜平・齋藤在輝
宮原遥菜

6 函短大 チーム ボールを投げる会

造形行為を伴う投げる遊びの開発と実践について

「造形行為を伴う運動遊び」は、運動の結果が視覚として残ることで自身の動きを理解しやすくなる効果がある。本研究では、子どもの狙って投げる力を鍛えることを目的とし、投げたボールに残る「べたべたボール投げ」の開発をし遊びの実践と分析を行った。

チーム代表 江口夏葵
チーム員 阿部光玖・池田琴音・小山田桜・川口つぐみ
竹澤星矢

7 北大水 チーム コンプ戦隊アルギンレンジャー

アルギン酸がヒーローに!?～ブルーカーボンとしてのアルギン酸の役割～

近年、大気中のCO2削減策として、海洋植物を介して炭素を地中に隔離するブルーカーボンが注目されている。我々はコンプなどの褐藻類が生成するアルギン酸の持つ炭素隔離効果に着目し、研究を通じて褐藻類のブルーカーボンとしての役割の究明に臨んでいる。

チーム代表 中里聡汰
チーム員 川原啓史

8 函高専 チーム LSQ

船外機を発電機に～被災地で電気を～

停電時の電力不足を解決するべく、漁船の船外機を発電機にするというアイデアを提案しました。これは船に設置されているバッテリーへの給電方法を応用したものであり、漁港で給電したバッテリーを避難所へ運搬して使用することを想定しています。

チーム代表 押切詢汰
チーム員 大塚仁瑛・野田辰太郎・鈴木侃・北村賢汰
高田晃汰・中山映・宿波有梨亜・白石斐十映
山口真希・山本尊琉・小林史乃



ブースセッション参加チーム

パネル展示や実演・解説

パネル展示を前に各種のデモンストレーションや解説などを行います。

1 特別参加 チーム 北海道学術振興財団

北海道地域の学術研究と科学技術のために

当財団は「北海道地域における学術研究の振興を図り、もって科学技術の進展を担う人材の育成並びに地域の学術、教育、文化及び産業の発展に寄与すること」を目的に、大学教員等の研究や海外学会での発表、大学生・大学院生の留学に対して、助成をしています。

チーム代表 廣岡優

2 北教大 チーム 花VSイカ

イカ墨×撥水性で花粉対策

イカ墨は多方面において利用方法が考えられてきた。本研究では負に帯電したイカ墨を用いて花粉に対する電氣的付着抑制効果を調べた。イカ墨に撥水コーティングを加えることで、短時間ながら花粉が付着しにくくなることがわかり、花粉症対策の一助となる。

チーム代表 梅田賢吾

3 函館大 チーム 商学実習Ⅱ佐藤班C

地域活性化でちょっと工夫する-できることをできるだけやってみる商品開発-

現在、地産地消の商品開発は珍しいことではありません。本研究は、七飯町特産のりんごを使い、消費者の経験価値観をくすぐる売れる商品の開発プロセスと、収益が確保できるモデルを考察し、「域内で全てが完結できるビジネスモデル」を、お示しします。

チーム代表 大野剛洋
チーム員 市橋優真・杉本優月



16 未来大 チーム 高度ICT演習 おさかな日和

北海道の魚介類の魅力を伝える!~おさかな日和~

「北海道の魚介類の魅力を伝える」ことを目的にアプリ開発を進めています。今年度は函館まちかど水族館とコラボし、マップアプリの開発がスタートしました。本日はブースでデモプレイも実施しています。

チーム代表 佐々木大聖
チーム員 工藤穂香・山本拓摩・米原孝星

14 大谷短 チーム コミュニケーション・心理ゼミ2

心理学的視点に基づいた無人販売での反社会的行動対策

人は他者から見られていない場所で反社会的行動を取ることがありますが、心理学の先行研究では、注意が自分に向くことにより反社会的行動を抑制できると示されています。本研究では無人販売所でこうした知見を活用した対策を実施し、効果を検証しました。

チーム代表 宮武胡桃
チーム員 佐藤乃佳

15 函高専 チーム KOSENラボ重曹水

青物活魚の効率的な締め方と鮮度保持

函館では近年ブリの漁獲が多くなってきている。しかしながら、それまで函館にて食べられてこなかったブリは地域での利用が盛んとはいえないのが現状である。そこで、傷みやすい青魚であるブリの鮮度保持に対し、重曹水を利用した方法を提案し、実験した。

チーム代表 竹澤遼騎

4 特別参加 チーム 東京理科大学長万部キャンパス自由研究ホタテ班

ホタテ貝殻の有効活用~アクセサリを作ろう!~

北海道・長万部でのホタテ貝殻の大量廃棄問題を解決するため、私たちは再利用方法としてアクセサリ制作に挑戦しました。貝殻を使いジェルネイルやキーホルダーを作成し、理想的に仕上げました。制作過程や作品を展示していますので、ぜひご覧ください。

チーム代表 西濱碧月
チーム員 高橋奏・柴田真緒

5 大谷短 チーム carina

服装によって話しかけられやすさに違いはあるか? :外見と他者評価の関連性

関係性が浅く情報が少ない問柄では、外見を整えておくことが相手からの良い印象を引き出す要因となります。本研究では、外見の要素として服装に着目し、服装によって他者からの評価が異なるかどうかを検証することを目的とした実験を行いました。

チーム代表 山田葵
チーム員 鎌田美南・山崎果怜

6 北教大 チーム メダカ教育委員会

お家で簡単!!メダカ実験~さかんにキスを覚えさせよう~

メダカは何故スポイトをつつくのか?本研究では、エサである藻の付着がその原因である可能性が高いことを明らかにし、オペラント条件付けを用いて、メダカにスポイト以外にキスするよう学習させる挑戦をした。

チーム代表 川村耀
チーム員 田澤篤志

19 函高専 チーム LSQ

船外機を発電機に~被災地で電気を~

停電時の電力不足を解決するべく、漁船の船外機を発電機にするというアイデアを提案しました。これは船に設置されているバッテリーへの給電方法を応用したものであり、漁港で給電したバッテリーを避難所へ運搬して使用することを想定しています。

チーム代表 高田晃夫
チーム員 押切詢汰・大塚仁瑛・野田農太郎・鈴木侃北村賢太・中山暎・宿波有梨聖・白石斐十映山口真希・山本尊瑛・小林史乃

20 特別参加 チーム 函館中部高等学校 僕は本気でず

衛星写真の配色割合と経済規模の関係

市区町村の経済規模を推定する目的の下、経済規模と衛星写真の色の関係を調査した。経済活動の盛んな地域の衛星写真は白色の割合が大きいという仮説を立て、各写真の白さ指数の期待値と経済規模の関係性を調べた結果、 $r=0.94$ の強い相関が確認された。

チーム代表 新開谷颯汰

18 函館大 チーム SHISHAMO

再生可能エネルギーを活用した持続的な地域づくりに向けて~道南地域における大学・大学院構想~

私たちは、近年注目を集める檜山・松前沖の洋上風力発電に着目し、発電・供給のみならず、これら資産を活用した持続的な地域の活性化や地域課題の解決に向けて、エネルギーに関連した研究・教育・人材の育成を行う、高等教育機関の設置・運営を提案します。

チーム代表 品川純輝
チーム員 佐々木翔太・肥田颯太・細川工・水島陸空 宮原蓮葉



7 特別参加 チーム 函館中部高等学校 チームECO

生ゴミの肥料化がもたらす経済効果

北斗市は近隣地域に比べてゴミの分別が細かく、生ゴミについては肥料化されている。生ゴミを肥料化することで、北斗市の経済にどのような影響を与えているのかを他地域との実態比較から分析する。また、肥料化の課題解決及び利益化についても提案したい。

チーム代表 白石菜々穂
チーム員 牧野重恵



8 特別参加 チーム 東京理科大学長万部キャンパス コ・デザインプロジェクトC14

長万部図書館と子供の読書離れを改善しよう!

私たちは教育の定義を、様々な経験をする事とした。読書習慣と子供の教育には深いつながりがあり、読書を通して疑似的な体験していると言えるのではないかと考え、長万部の図書館を利用し、読書を楽しみ感じてもらうためのイベントを企画した。

チーム代表 塚寄遥聖
チーム員 金子透悟・青木舞桜・プリューフスゾーイ

21 特別参加 チーム 青森中央学院大学 SDG's推進チーム

水道料金はどのようになるのか?水道事業の効率性研究

SDG's 6-1に「安全で安い水の利用」がある。一方、進む人口減少は水道設備の持続可能性を抑制し、水道事業の経営効率性を低下させ、水道料金を高めるかもしれない。本研究では水道事業の効率化により、料金の抑制可能額をDEA分析をもとに計測する。

チーム代表 山谷美月
チーム員 安村彦輝・小林稔生・佐藤敬・橋本七海

22 北教大 チーム いかぼ

イカ墨による多孔質電極の作製

色素増感太陽電池で用いられる酸化チタンのみの電極では多孔質が少なく発電効率が低い。本研究では、イカ墨を混ぜることで得られる多孔質特性を利用し、酸化チタン電極を作製した。従来の電極と比較したところ、イカ墨を用いた電極で電圧が上昇した。

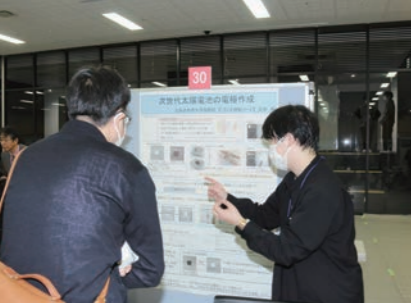
チーム代表 島山奈津子

23 函館大 チーム KANDA!

地域の未来をつくる:再生可能エネルギーと地域振興の新しいアプローチ

道南地域で注目されている再生可能エネルギーとスポーツを運動させた地域活性化のアプローチを考察します。RE100スポーツセンター構想により、スポーツを通じて地域の多様性・教育力の向上、持続的な地域の活性化へつなげていくことを提案します。

チーム代表 永谷穂悟
チーム員 佐々木蓮生・大野伶恩・成田遊牙・長尾悠 橋本咲陽



9 未来大 チーム 高度ICT演習 はこんだて

給食と家庭を繋ぐアプリ「はこんだて」

函館市内の学校給食情報をスマホで手軽にチェック。献立表や人気レシピ、栄養情報などを掲載。市役所保健給食課や学校栄養士と連携し、より良いアプリを目指しています。今年度は新たに連携を開始した小学校と協力し、機能改善を進めています。

チーム代表 澤田萌衣
チーム員 井田和樹

10 特別参加 チーム 東京理科大学長万部キャンパス コ・デザインプロジェクトA4

長万部高校生と考えた可能性を広げるワンステップ

私たちは「可能性を広げるワンステップ」を教育の定義とし、陽岐島前高校の成功例を参考に長万部の高校生と地域課題を探求した。インタビューから高校生が都会で経験を得る方が良く考え、都会での総合型ワークショップが町の復興に繋がると結論つけた。

チーム代表 後藤千輝
チーム員 赤間千夏・高橋唯・引原奏音・宮崎宇奈

24 大谷短 チーム 保育者のたまご

保育現場における視覚支援の在り方

保育現場では、障がいの有無に関係なく統合保育が実践され、集団生活や一斉指導における困難さと支援方法への悩みといった問題に直面している。本研究では、療育現場の実践をもとに、保育現場にも活かせる視覚支援のアイデアと在り方について検証する。

チーム代表 大川日那
チーム員 乾乾真

25 特別参加 チーム 函館水産高等学校 あまも調査隊

七重浜でアマモを調査しました。

北斗市七重浜におけるアマモの分布を調査した。①海水浴による調査は、アマモの生息場所をGPSで記録した。②ラジコンボートを用いた調査は、船底に水中カメラを、船上にGPSを搭載し映像とGPSの位置情報を結びつけアマモの生息場所を確認した。

チーム代表 皆川彪雅
チーム員 川口真之介・向井莉都・伊勢慶稀・下澤花音 中山銀河・三上瑠久

26 特別参加 チーム 青森公立大学 青森まちなかしかへらあ~s

青森駅前市街地活性化の取組

青森まちなかしかへらあ~sでは、青森市中心市街地での清掃活動やイベントのボランティアを通して、中心市街地活性化に向け尽力しています。今年度も市内大学生を対象とし、中心商店街との連携イベントを企画中です。

チーム代表 能登七海
チーム員 宮腰奏美・阿部仁菜・中野ありす・松田優唯

11 函館大 チーム 商学実習Ⅱ佐藤班A

ニューツーリズムによる交流人口の創出

上ノ国町では、日本的な伝統を観光の資源としてきましたが、私たちはニューツーリズムの視点から、地域資源としてダムに着目、ダムマニアにむけた商品の開発と販売、プロモーションを提案します。これにより交流人口と販売による収益、双方の効果を図ります。

チーム代表 名越航太
チーム員 江刺家駿斗・田中亜久里・土畑海翔

12 北教大 チーム 北教大函館校 地域プロジェクト

放課後学習サポートプロジェクト

小学生が自主的に家庭学習に取り組むことができるようにするため、「放課後学習サポート」を実施した。参加児童は大学生と意図的に学習に取り組んだ。この活動を通して、児童が自主的に家庭学習に取り組む力を育むことができたと考えられる。

チーム代表 赤坂心春
チーム員 小向光・永井里佳・工藤大吾・山石真智 大森 春奏・鈴木友美・村上俊人

13 未来大 チーム ぽありー

自己肯定感をはぐくむ、ポケットの中の応援団

「ぽありー」はユーザーの日記をAIが分析し、フィードバックを通じて自己肯定感の向上をサポートするアプリです。新社会人や環境の変化に直面する人に向けてポジティブな思考と前向きな行動を促し、「ポケットの中の応援団」としてユーザーをサポートします。

チーム代表 小池宏幸
チーム員 柏崎遥菜・畑山龍空・中村翔

27 未来大 チーム 高度ICT演習 Dotto

未来大生支援アプリ「Dotto」

本グループは、公立はこで未来大学の学生を支援するモバイルアプリ「Dotto」を開発・運用しています。分散して見つけにくい情報を一元化し、学生生活を支援することを目的としています。アプリはiOSとAndroidで利用可能です。

チーム代表 南川虎之介
チーム員 伊藤晋悟・高橋慧流・鈴木利芳・齊藤輝 大須賀雅也・門脇知香・喜多見彩加 細田彩香・庄司一樹・鈴木美冬・田中琳菜 永田来煉・三上風咲・山崎 壮馬・藤江 琴美

28 特別参加 チーム 青森中央学院大学 スポーツの力分析チーム

スポーツが心と体に与える影響? 都道府県別データによる実証研究

青森県では三大疾病による死亡率が全国的に見ても極めて高い。また、2024年10月に国スポが開催されることから、スポーツを通じて健康な心と体を育むことが、健康や寿命に及ぼす効果を与えるのかを都道府県データによって分析し、改善策を検討する。

チーム代表 山内美月
チーム員 川村朱璃・石田花々・齊藤光咲 渋谷咲良・工藤瑠姫

29 函短大 チーム ボールを投げる会

造形行為を伴う投げ上げる遊びの開発と実践について

「造形行為を伴う投げ上げる遊び」は、運動の結果が視覚として残ることで自身の動きを理解しやすくなる効果がある。本研究では、子どもの狙って投げる力を鍛えることを目的とし、投げたボールが的に残る「べたべたボール投げ」の開発をし遊びの実践と分析を行った。

チーム代表 江口夏夏
チーム員 阿部光玖・池田琴音・小山田桜・川口つぐみ 竹澤星矢

30 特別参加 チーム 東京理科大学長万部キャンパス
コ・デザインプロジェクトB9

探求心を育む機会としての教育

私たちは長万部町を調べる中で教育について考えた。活動の中で夢がない子供が多いことが判明したことから学生の探求心を伸ばす必要があると考え、教育を「Action」を起こすための基礎作り」と定義した。

この定義に至るまでの過程や実証を発表する。

チーム代表 三入ありさ
チーム 員 蒲生千夏・金子悠介・横田雄大

33 北教大 チーム
チームK

キャリア選択と文理選択におけるジェンダーの関係～教員の視点から見る現状と課題～

子どもの自己形成やキャリア形成には、個人の能力を超えてステレオタイプも関係しています。例えば、女子の理系進路選択には、ジェンダー・バイアスが関係しています。本研究では、生徒達が積極的に多様な将来を展望できるための学校の課題を考えます。

チーム代表 内山美奏
チーム 員 近藤里美・小林みちる・笹原真悠子

35 未来大 チーム
:ENATA

会って更新するプロフィールアプリ

コミュニケーションアプリ「:ENATA」はオンライン化が進む現代で会うことの価値を高めるためのアプリです。:ENATAは、自分の趣味や出身地を気軽に共有することで、新しいコミュニケーションの形を提供します。

チーム代表 藤井恒成
チーム 員 田中敬二・新美昂正・赤井暖太

38 未来大 チーム
高度ICT演習 ばすういふと

函館地域のバスの利用をサポートする「ばすういふと」

現在あるバス検索アプリ・バスロケーションアプリには利点・欠点があると考え、本プロジェクトでは、それらの利点を取り入れた機能や使いやすいデザインにも焦点をあて、函館市のバスの利用をサポートするためのバス検索アプリの開発を行っています。

チーム代表 池端奏
チーム 員 藤井大悟・小原叶夢・佐々木羽珠

41 未来大 チーム
Fun-I-Con

KABERECO ～壁紙選びを楽に楽しく～

多くのユーザは膨大な数から1つを選ぶ購買選択に多くの時間と労力を要する。そこで、壁紙選びなどの購買選択をスマートにできるアプリケーションKABERECOを提案する。KABERECOは3000種類の壁紙からユーザの好みに合う壁紙を推薦する。

チーム代表 西陽也
チーム 員 松下文太・関崎暁・小久保尚・久保田大智



31 函館大 チーム
チームアライ

We are ALLY ～性的マイノリティが生きやすい社会に向けて～

函館市では少しずつ性的マイノリティ(LGBTQ)のための制度が向上しているがまだ十分とは言えない。本発表では、函館市における性的マイノリティに対する制度の現状や認知度を批判的に考察し、どうすれば性的マイノリティが生きやすい社会が可能となるのかを提言する。

チーム代表 高橋昌直
チーム 員 伊藤優希・上野矢祥太・大坂憂月・近藤健也
佐藤瀬里菜・武田大和・辻田圭斗・福澤竜起
三浦史香・村井想規・若林龍也

34 特別参加 チーム 東京理科大学長万部キャンパス
コ・デザインプロジェクトD23

「対話」で授業の概念を変えよう！

私達は教育の定義を「誰もが平等に互いの能力を伸ばし合う事」とし、これを達成できる授業形態をメンバーの経験や考えを基に考えた。生徒が能動的姿勢になれる授業形態を探るため、アンケート調査と座席や道具を工夫してディスカッションをするWSを行った。

チーム代表 杉浦麻友
チーム 員 江瀧華子・佐藤翼・柴田真緒

36 大谷短 チーム
コミュニケーション・心理ゼミ1

心理学の観点からみたカスタマー・ハラメント:加害者と被害者双方への支援を考える

近年深刻な問題として注目されているカスタハラについて、発生の経緯、加害者の心理状況、加害者は本当にカスタハラをしたくてしているのかといった観点からカスタハラの対策について考察しました。また、飲食店へのインタビュー調査も実施しています。

チーム代表 佐藤里乃佳
チーム 員 宮武胡桃

39 北教大 チーム 函館におけるオシラサマ信仰の
調査プロジェクトチーム

函館におけるオシラサマ信仰の現在

東北から道南に伝わってきた民間信仰オシラサマ(一対二体の男女の木偶で作られたご神体)について、フィールドワークをおこなった。今回はその調査報告を通して、函館におけるオシラサマ信仰の現状を明らかにする。

チーム代表 田端啓太
チーム 員 東山翔音・関口幸次郎

42 北教大 チーム
イカにも

イカ墨染色毛の表面観察

ジアミン類を使わない、イカ墨色素粒子による安全な染毛が注目されている。イカ墨染色毛は色素が毛髪表面に付着するため、ダメージが少ないことが確認された。また、2回染毛することで市販品より約1.4倍濃くなり、実用化の可能性が大いに高まった。

チーム代表 高橋菜楠

44 北大水 チーム
クオラムセンシング

新規クオラムセンシング誘導剤の汎用性の検討

クオラムセンシング(QS)は微生物が周辺の同種密度を感じて多様な機能を制御する仕組みであり、個々の微生物が協調して働くための機構である。本研究ではQSを誘導し鉄結合物質シテロフォア、抗酸化物質、抗菌物質の生産誘導をスクリーニングした。

チーム代表 大町結愛

32 極東大 チーム
ロシア語勉強くま

これからのロシア語

閉校危機にある我校のみならず、今日、北海道のロシア語教育は厳しい状況にある。若い世代にロシアに興味を持ってもらい、ロシア語学習者を増やすには何が必要か。160余年の函館のロシア語教育史を通してこれからのロシア語のあり方を皆さんと模索します。

チーム代表 早川穂乃花
チーム 員 櫻井寛人・近藤昌人



37 特別参加 チーム 大学コンソーシアム学都ひろさき
学生委員会いしてまい

より良い弘前を創る・発信する

“いしてまい”とは津軽弁で「良すぎて仕方がない」を意味し、「弘前のために何ができるのか」を考え企画・実行しています。主な活動は「飲食店企画」「衣類回収ボックス設置」「伝統文化企画」で、今回は活動目的・手段・成果・今後の課題を発表します。

チーム代表 小野祥太郎
チーム 員 石田奈々

40 函館大 チーム
函館魅力調査隊 函大支部

移住者支援情報誌～函住Book～

本グループは函館市の移住者の支援のために活動しています。函館は観光都市として有名ですが、移住に必要となるのは「生活の場所」としての函館の情報です。そこで、観光スポットにとどまらない函館の様々な魅力について情報誌にまとめ、お届けします。

チーム代表 齊藤叶大
チーム 員 市川大喜・大久保爽太・大久保結斗
小西良明・正村遙大・中山来琉・畠山風羽
細川歩夢・三浦大生・山本敦伸・波部茜

43 函館大 チーム
商学実習II佐藤班B

ダブルロスの軽減による地産地消の商品開発で地域活性化

食品ロス・機会ロスをポジティブな視点で捉え、地域活性化につなげるアプローチを検討します。木古内町にて活用されていないヒジキを道の駅で販売、加工時に出る間引きヒジキを活用し、ダブルロスを軽減します。さらには収益化に向けた取り組みを提案します。

チーム代表 齊藤大河
チーム 員 平山健・升田柊・宮武奏太

45 極東大 チーム
通商使(ケンロン)

～実際に見たがゆえに語れること～ in Russia

現在ロシアとの交流は限られており、報道等を通して間接的にしか知ることができない。そこでロシアでの留学実習中にロシア人学生が日本に対してどのような印象を抱いているか等のアンケート調査を実施し、分析する。この結果から得たロシアの今を発表する。

チーム代表 渡邊晟矢
チーム 員 岡岡正悟・一ノ渡夏菜

46 特別参加 チーム 東京理科大学長万部キャンパス
コ・デザインプロジェクトE29

教育=部活動

私たちは、教育を部活動と定義し、理科大生と協力して長万部の部活動を増やす提案をします。部活動は目標に向かい努力し、人間関係や礼儀、忍耐力を学べる重要な教育の場です。部活動参加や教員インタビューを通じて課題を把握しました。

チーム代表 栗川晃弥
チーム 員 足立優太郎・安田実央・姚佳恵



48 特別参加 チーム 函館中部高等学校
パフパフラッパ愛好会

ラッパ型玩具の共鳴振動数の変化に関する考察

本研究では、玩具のパフパフラッパの音響特性を調査した。パフパフラッパは空気の放出時と吸入時で音の周波数が異なる。この現象の原因を解明するため、固有振動数の解析を行った。その結果、パフパフラッパの音響特性の一端が明らかとなった。

チーム代表 今在麟太郎
チーム 員 金澤興祥

51 特別参加 チーム
ワークラボ函館

ワークラボ函館における活動内容

ワークラボ函館は、株式会社ネットリソースマネジメントとハコロドットコム株式会社、函館市が連携して2020年に開設。センサー技術を活用し、オフィス環境の改善や函館市電の混雑緩和、人流分析など地域経済の発展と持続可能な働き方を支援しています。

チーム代表 村上昌志
チーム 員 山岸純也

54 北教大 チーム
黒作リーン

イカ墨色素粒子の抗菌評価

イカの塩辛の中で、黒作りが最も菌の増殖速度が遅い。しかし、黒色のイカ墨色素粒子単体の抗菌効果はわかっていない。本研究では、精製したイカ墨色素懸濁液を培地に塗布することで大腸菌の増殖を抑制でき、その抗菌性が見込まれた。

チーム代表 阿部寿実



59 特別参加 チーム 函館大学付属柏稜高等学校
理科研究部1

北海道函館白尻産ダルスの雌性配偶体及び生活史

柏稜高校理科研究部は、白尻産の紅藻ダルスの研究を継続して行っています。本研究では、2024年1～3月のダルス葉体をサンプリングして頂き、胞子体と雌性配偶体の識別調査を行いました。さらには、両者のフィコピリタンパク質量を測定し、比較しました。

チーム代表 中村響
チーム 員 水間咲心

49 北教大 チーム
塩分濃いめ

海洋大循環を学ぶ実験教材の開発

海洋大循環は熱を循環させ環境に影響を及ぼすが、関連する教育教材が少ない。本研究では、塩水の流れを自視できるように示流薬を作成し、水とヒーターで温度差を生じさせた。その結果、回転する水流が観察され、海洋大循環の様子を見やすく示すことができた。

チーム代表 須藤雅斗

52 北大水 チーム
赤潮

道東赤潮原因藻類の増殖に関与する細菌の機能解析

2021年秋道東赤潮の原因藻類であるK.selliformisの成長を促進する通称#17菌株の影響を調査する。本研究では、K.s.の増殖条件を整え、#17株の成長促進機構を解明する手法を確立し、赤潮の早期警戒に貢献することを目指す。

チーム代表 岸本竜

55 函館大 チーム
台湾プロジェクト

大学による外国人人材育成と地域定着にむけたインターンプログラムの検証

私たちは、函館・台北間に定期就航便のある台湾の教育機関と、道南の企業にむけて調査を実施しました。この結果から、道南地域の多様な人材確保や地域のグローバル化にむけ、高等教育機関を活用した外国人人材の育成とインターンプログラムを提案します。

チーム代表 日向葵
チーム 員 高山もか・大坂憂月・小川凜平・齋藤在輝
宮原遥葉

57 函館大 チーム
幸福探検隊

幸せってなんだろう？

函館は若者向けの娯楽施設が少ないとか、交通の便が悪いとか言われますが、そんな環境でも幸せに暮らす方法を考えます。

チーム代表 帯川 柚葉
チーム 員 石本真那斗・岩井航之介・小野智暉
小本大夢・谷目星七・鳥居天翔・中野琢斗
畑中陽菜・樋口凱成・福島空風・窓岩遼太

60 特別参加 チーム 函館大学付属柏稜高等学校
理科研究部2

北海道函館白尻産ダルスに生育環境が与える影響

白尻産の紅藻ダルスは、その大多数が昆布養殖のローブに繁茂しますが、この地区の沿岸の岩場にも自生することが確認されました。本研究では、ローブと岩場の葉体を調査することで、ダルスに生育環境が与える影響について考察しました。

チーム代表 中村響
チーム 員 水間咲心

47 未来大 チーム
高度ICT演習 ほこでてSweets

函館スイーツの魅力伝えるアプリ「あまはこ」の開発

ほこでてSweetsは函館スイーツの消費拡大を目的とするプロジェクトです。今年度は、ユーザーアンケートを実施しスイーツ探しでユーザが求めていることを明らかにし、市外出身の函館在住者向けのスイーツ検索Webアプリケーションの開発をしています。

チーム代表 海野芽実
チーム 員 伊東穂波・角脇輝映・ハイダルアジス
佐々木乃愛

50 未来大 チーム
Move me!!!

無駄な時間をなくすためのアプリケーション

スマホ用アプリ「Move me!!!」は、ユーザーのスクリーンタイムを基にして、ユーザーの暇時間を可視化することで無駄な時間をなくすためのアプリケーションです。暇の可視化にはヒマワリをスマホの利用状況に合わせて変化させることで表現します。

チーム代表 山北晴斗
チーム 員 谷村航洋・大久保蓮・光藤涼真

53 特別参加 チーム 函館中部高等学校
科学部2

渡島近海に生息する魚の消化管内のマイクロプラスチックの存在実態

本研究では、渡島近海におけるマイクロプラスチック(MP)汚染の現状を調べるため、渡島近海から採取したカタクチイワシの胃と腸に含まれるMPの数と種類について調査したところ、体長と含まれるMPの個数に正の相関があることがわかった。

チーム代表 山下千里花
チーム 員 永山柊哉

56 北教大 チーム
セビアーニャ

イカ墨色素凝集塊の微視的観察

現在、粉末状のイカ墨を水で再懸濁する技術がまだ確立されていない。本研究では、加熱乾燥によってできたイカ墨色素凝集塊を走査電子顕微鏡を用いて表面を観察すると共に、凝集塊のサイズや懸濁方法を検討した。その結果イカ墨の沈殿の量の減少が確認できた。

チーム代表 姫野俊祐

58 特別参加 チーム 函館中部高等学校
科学部1

昆布からのアルギン酸抽出手順の効率化

昆布からアルギン酸を抽出する手順は、一般的に多くの工程を経ることから手間がかかる。そこで本研究では抽出手順の効率化を図るため、生果実験で使用する試薬を使用、さらに手順を簡略化した結果、一部の試薬等が分解酵素の代用になることが分かった。

チーム代表 田上桜
チーム 員 京谷朋樹・筑前陽稀

61 CCH チーム
ライブラリーリンク

人をつなぐ 本でつなぐ

ライブラリーリンク(LL)とはキャンパス・コンソーシアム函館のもとに設置された図書館連携のための組織です。市内8高等教育機関と函館市中央図書館が2009年から連携しています。函館市内には、個性のある図書館がいくつもあります。現在、ライブラリーリンクに参加している図書館の蔵書数の合計は、150万冊以上。これは、大規模図書館にも匹敵します。ライブラリーリンクは、読書をはじめ、学習や研究のより充実した環境を函館地域のみなさんに提供するため活動しています。

チーム代表 キャンパス・コンソーシアム函館